

ヒトが
生きるには
ココチよい。
biwakonomoto.jp

これからも
びわ湖の素
米原

「びわ湖の素 米原」 だから ヒトが生きるにはココチよい。 ペダルでめぐる「びわ湖の素・米原」

“ペダル”と“まち”をむすぶ

ジャパンECOトラック『びわ湖・伊吹山』（「琵琶湖・伊吹山」広域自然観光圏整備）

びわ湖を契機として、本市の強みである“琵琶湖”および“伊吹山”をはじめとする豊かな自然と、交通の利便性の高さを生かした『駅を活用した自然を満喫する新しい旅のかたち』（サイクリング、トレッキングなど）を提案するとともに、その旅を支える拠点整備やプロモーションを展開します。

自転車・トレッキング・カヌーといったアクティビティを通じて自然を体感し、地域の歴史や文化を味わい、人々との交流を楽しむ新しい旅のかたち。それが、ジャパンエコトラック推進協議会が提唱する「ジャパンエコトラック」です。米原市では、平成28年10月に、全国で5番目となる「びわ湖・伊吹山」のエリア登録を行いました。株式会社モンベルおよび市民活動団体マイクリング・プロジェクトと協働でルート選定を行い、今後も、市域や県域に捉われない、魅力的なルート提案を目指していきます。



“ペダル”でわいわい体感する

大規模サイクリングイベント！『びわ湖の素・米原』グルメライド

米原市内全域に設置された5つのエイドステーションと6つのチェックポイントで巡るサイクリングイベントです。エイドステーションには地域の特色ある食べ物が満載！走って食べて、景色を見て、自然と触れ合い、地域や参加者と交流しながら、自身の体力に合わせて自由にコースをアレンジ。エイドステーションとチェックポイント、どちらも1か所ずつ以上めぐると、完走証がもらえます。無理をせず自分のペースで楽しむサイクリングイベントです。平成29年度は、10月29日（日）に開催予定でしたが、台風22号のため残念ながら中止となりました。（事前参加申込：294名）



滋賀県湖北「びわ湖の素・米原」。

豊かな自然と、湧き出す水が織りなす四季折々の恵みをたのしみながら
ゆるやかに守り継がれる田園風景・寄り添う小道に心癒される旅。

「ペダルでめぐる『びわ湖の素・米原』」へようこそ。



米原市内の観光資源をめぐる“移動”の距離感は

自転車の旅にぴったり。

自分のチカラでペダルを踏んで

いつもの道を、視点を変えて散策してみてください。

“ペダル”でじっくり体感する

小～中規模サイクリングツアー開催体制の整備（米原駅、近江長岡駅を活用）



「米原を自然観光してみたいけど、どこへ行ったらいいだろう...？」
そんなニーズにばっちり対応します！米原を具体的に周遊することをアシストする、地域密着サイクリングガイドツアーを催行。地元民だからなじみのある、車では入れないけど味のある道、徒歩では回り切れない観光ポイントを、歴史や文化・伝統の豆知識も交えながら体感できます。

⇒ **びわこ一周レンタサイクルオリジナルツアー** で検索してみてください！



“ペダル”のまちを育む

サイクリング環境の整備

①サイクルステーションの設置

平成27年度の社会実験の結果を踏まえ、米原駅に滋賀県と協働でサイクルステーションを整備。びわ湖や市内観光の玄関口としての機能強化を図ります。（平成28年10月オープン）運営は、NPO法人五環生活で、平成28年10月～平成29年1月の貸出台数は3000台強!! 米原駅発のニーズがあることを実証しています。



本施設からサイクリング初心者まで対応
シャワー・トイレ・自転車・ロードバイクなど、サイクリングに必要な設備が完備。また、子ども用自転車も貸出しています。



1日3,500円から
※鍵、ヘルメット、サイクルコンピューターを含みます。
※レンタサイクル利用者はシャワー室が無料で御利用いただけます。

②市内の受入体制の整備

市内公共施設に、ジャパンエコトラック仕様のバイクラックを設置しました。（全12箇所）今後は、市内飲食店などにも設置を拡大し、受入体制の強化を図るとともに、ルートの認知度向上を目指します。



③市民団体等との連携



市民活動団体「マイクリング・プロジェクト」